

「情報公開文書」

単機関研究用

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

麻酔についての同意を得る際に臨床研究に参加していただく可能性がある旨についても患者の保護者に説明し、それはオプトアウトが前提となる。

小児の日帰り鼠経ヘルニア手術において抜管前プロポフォール少量投与が与える影響に関する研究

1. 研究の対象

2023年04月01日 から 2025年07月31日 までの間に、当院の小児外科で鼠経ヘルニアについて日帰り鼠経ヘルニア手術を受けられた6歳以下の方

2. 研究実施期間

(機関の長の許可日) から 2026年12月30日 まで
26-710

3. 研究目的・方法

目的 下記の試料・診療情報等を利用し、低酸素血症について解明することを目的とした研究を実施するため、当院において鼠経ヘルニア手術の治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに術後の経皮的酸素飽和度のデータを選び、低酸素血症に関する分析を行い、術後の合併症の出現する仕組みについて調べます。

方法：この研究に使用する記録として、すでに保存されている麻酔記録とカルテを使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報が漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・ 試料：該当なし
- ・ 情報：術前麻酔科診察記録および術中麻酔記録、手術室退室後の回復室における記録

5. 情報の提供先・提供方法

該当しません。

6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため開示すべき利益相反はありません。

7. お問い合わせ先

東海大学医学部付属病院 (電話：代表 0463-93-1121 内線：3911)

研究責任者 麻酔科／教授 鈴木 武志

問い合わせ担当者 麻酔科／助教 竹中 恭一郎

麻醉科／事務局 仲田